

別紙3

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月29日

事業所名 寒川町立ひまわり教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	16	2	建物古く耐震性に不安がある 備品庫、安静室が必要かと思えます	公共施設再編計画策定の中で検討していきます。
	②	職員の配置数は適切である	16			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。 また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	2	・狭い、部屋数が少ない ・視覚教材が少ない	公共施設再編計画策定の中で検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	1	/狭い、部屋数が少ない 荷物等を置く場所がない	公共施設再編計画策定の中で検討していきます。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	15	2	・各児の近況、大事な情報を得にくい ・職員相互の情報共有が少ない	勤務体制によりますが、当日参加の児童の様子を把握した上で勤務できるように情報共有するよう努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	17			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	2	理解しないまま仕事をしている(臨時職員なので)	全スタッフで共有できるよう、スタッフ全員、個人的に結果報告を示すよう努めます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		15	・理解しないまま仕事をしている(臨時職員なので) ・第三者評価を受けていない	第三者評価を受けていないので、第三者評価について取り組んでいます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	2	・理解しないまま仕事をしている(臨時職員なので) ・とは言え参加しにくい	常勤、非常勤は研修の機会もあるか?臨時職員には確保されていないのが現状ですが、事業所内研修など取り組みを進めます。
適切 な 支援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	17			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15	1	理解しないまま仕事をしている(臨時職員なので)	全スタッフに周知します。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	1	理解しないまま仕事をしている (非常勤なので)	全スタッフに周知します個別支援計画についての理解がなされるよう情報共有し協議して支援内容を設定します。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16	1	目標を大きくとらえ、スモールステップの支援につながっているとは言えない	個別支援計画を共有し、集団、個別での支援を進めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	16			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	16	1	理解しないまま仕事をしている	当番制など工夫に努めます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	16	1	理解しないまま仕事をしている	サービス管理責任者とスタッフとの連携に努めます
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	2	必ずというわけではない	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している点等を共有している	16	1	固定対応ではないため、共有といえれば共有、 されど、みんなが気づかないこともある	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17		記録はしている	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15				

関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	2	・理解しないまま仕事をしている ・職責者の役割の見直しが必要	報告、連絡、相談を徹底するよう努めます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	16			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	15	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	15	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	16	1		
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14	2	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	16			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	1		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらひ及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	16			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16			
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15			
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	16			
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	16			
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	16			
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	16			
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14	2	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	2	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	2	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	2		
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	2	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	14	1	理解しないまま仕事をしている	全スタッフに周知するよう努めます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表：平成 年 月 日

事業所名 寒川町立ひまわり教室 保護者等数(児童数) 20名 回収数 13 割合 65 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2			もう少し広くてもいいかなと思う。	公共施設再編計画策定の中で検討していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。 また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13				名前と一緒に動物のマークが書いてあるので、どこに自分のくつや荷物を置けばいいのかわかりやすい	継続します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12			1		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	3				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	4		2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	3				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2		2		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2		3	特にすすめられていない	運動会やどんど焼きなど限られている機会を見直せるか検討します。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1			2回目の利用なので知っているものだと思う説明を省略された	利用契約時の説明について徹底します。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1		1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	2	1	4	・子供にどのように言葉がけをしてあげたほうがいいのか教えてもらいたい ・上の子の利用時(山田先生だった時?)以前1ヶ月に1回あった保護者会が無くなっていった	・面談や相談などを通してアドバイスなど随時実施するよう努めます。 ・保護者会は原則月1回開催しています。行事によりおたよりの配布のみとなる場合もありますが、できるだけ開催するよう努めます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10		2	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	2	6	特にすすめられていない	月1回の定例会、親子と遠足等の機会を通して支援します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1		2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13					
非常時対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	2	2	4	災害時の避難場所や引き取り方を知りたいです	基本的には隣接する小学校、保育園とともに、事業所で待機します。再度、保護者会で説明していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	3	4		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1			現時点では入室を嫌がっている	成長の過程の中で分離不安もありますが、できるだけ円滑な分離に努め楽しんでもらえるよう努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1			保護者に対しての支援は以前より減っている	月1回の保護者会、別日の親子遊びなど保護者への支援に努めます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様から「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所としてのコメント

常勤2名、非常勤2名、臨時職員16名体制のため、臨時職員は勤務日数が月に1日～6日程度に留まっているため、行事に参加する機会が少ないこともあり、理解しないまま従事している状況となっていることが明らかになったことで、事業所内での連絡、報告、相談の重要性を再認識できた。利用児の保護者からいただいた貴重なご意見、集計結果を踏まえ今後の事業所運営に生かす、よりよいサービス提供につなげていきたいと思っております。